

円山動物園の海鳥の保全に向けた取り組み

平成31年3月

円山動物園ビジョン2050策定

→ 北海道の生物多様性保全への貢献を掲げる

- 動物飼育を通じた生息域外保全の取り組み
- 研究者や保全活動団体等と連携した情報発信
- 道内野生動物調査や域内保全活動の取り組み強化

令和2年3月

上記ビジョン実施計画策定

- 北海道ゾーン整備計画
- 北海道の野生生物保全にかかる調査研究の促進

令和2年7月

- EnVision環境保全事務所によるドブネズミ調査に同行・視察
- 海鳥センターにて環境省・羽幌町等と、海鳥の保全についての意見交換を実施

海鳥展の開催

イベント名 特別展「海鳥展」

開催日時 令和3年2月20日（土）～3月7日（日）15日間

場所 円山動物園 情報ホール

- 趣旨
- 北海道近海に生息する海鳥について生態や生息状況を掲示し、来園者に海鳥が生態系で占める役割や減少することで起こりうる問題などについて学ぶ機会を設ける。
 - 特に剥製や骨格標本、生息地の模型など立体的な展示で詳細に生態や生息環境を伝えることで道内に海鳥繁殖地が存在している貴重性を感じてもらう。
 - 羽幌町・天売島における地域住民・産業等と連携した海鳥保全の取り組みを紹介し、市民参加意識向上を図る。



海鳥展の開催

内容

- パネル展示
海鳥の生態、生息地、漁業による被害、被害への対策、天売島の紹介、他
- 標本展示
剥製 ツノメドリ、ウミスズメ、カラス、他
骨格 ハシブトウミガラス、ペンギン、カラス、他
- 模型展示
天売島全体、海鳥繁殖地の崖

開催主体

主催：札幌市（円山動物園）
協力：環境省、北海道海鳥センター、バードライフインターナショナル、北海道大学総合博物館、円山動物園サポートクラブ

海鳥展オープニングイベント

開催日時 令和3年2月20日

場所 円山動物園 動物園プラザ

- 内容
- 北海道海鳥センター 石郷岡 卓哉 氏 講演
『天売島の海鳥と私たち ～海鳥と人が共に暮らす地域を目指して～』
 - パネルディスカッション
パネラー 北海道海鳥センター 石郷岡 卓哉 氏
円山動物園園長 加藤 修
札幌市環境局参与 小菅 正夫

開催方法 オンラインセミナー形式を基本に、会場内でも放映

参加者数 会場参加 8名（定員10名）
オンライン参加（聴講） 33名 計41名

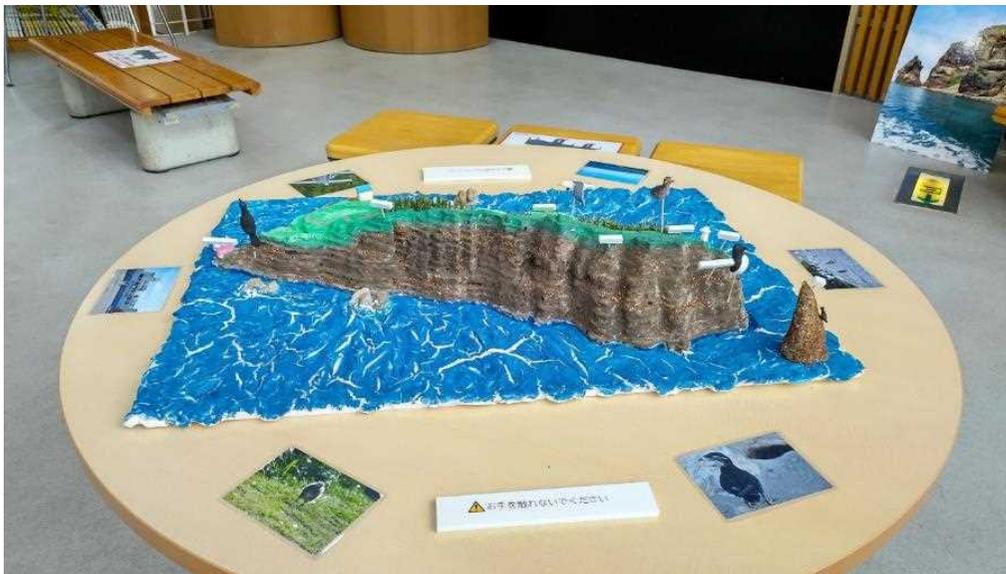
海鳥展オープニングイベント 会場の様子



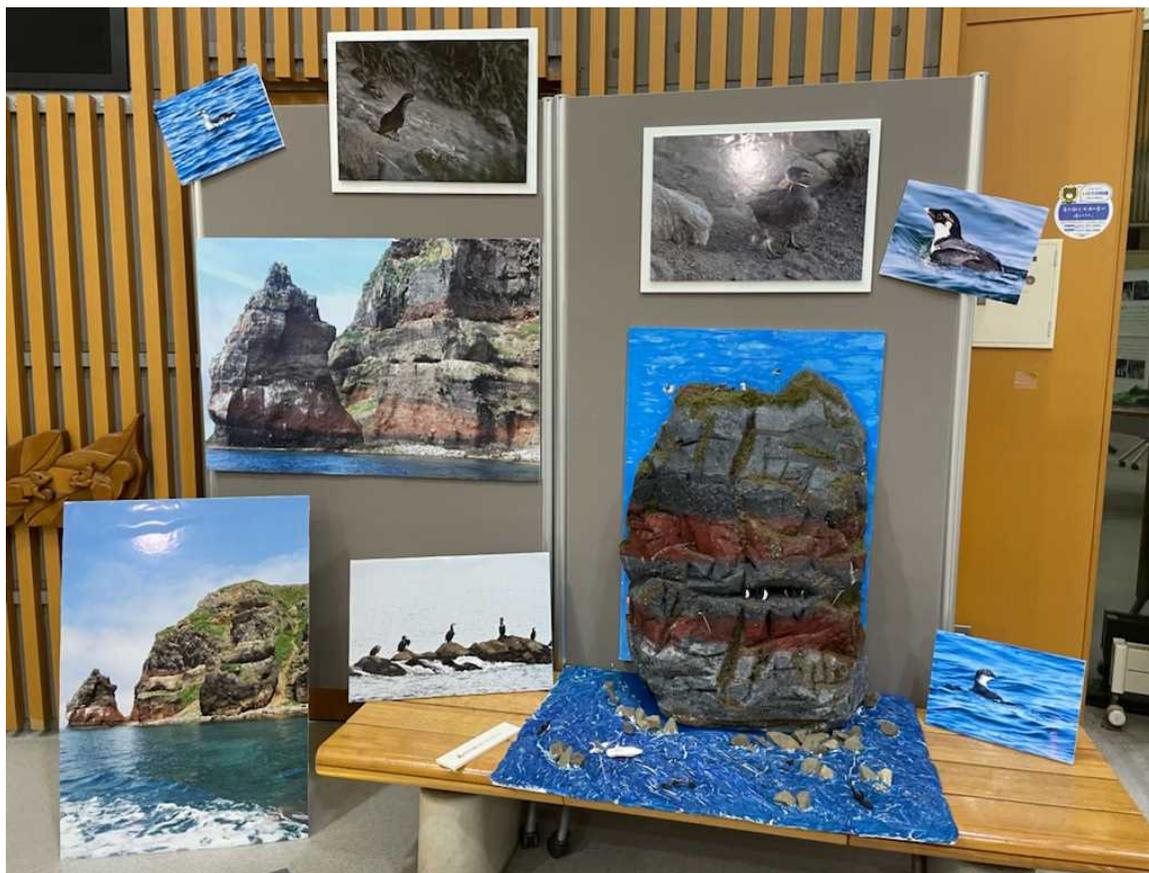
海鳥展 会場の様子



海鳥展 会場の様子



海鳥展 会場の様子



今後の方針

- 天売島における生息状況調査などへの継続的な同行
- より主体的な関与に向けた研究者等との連携強化
- 定期的な特別展示・講演会等の開催による来園者教育の推進
- 将来的な北海道産海鳥類飼育展示に向けた、先行園館からの知見の収集
- 将来的な北海道産海鳥類飼育展示のための施設建設
(北海道ゾーン)